

授業概要

分野	学科目	1年前期		90分講義 15回 (試験を含む)
専門分野	基礎看護学方法論Ⅲ	30時間	1単位	
授業科目		講師		
フィジカルアセスメント		専任教員(実務経験者)		
科目目標	1.フィジカルアセスメントの意義を理解し、バイタルサインと身体各部の測定ができる。			
	回数	項目	内容	
科目内容	1	ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント	1.ヘルスアセスメントとは 2.フィジカルアセスメントとは 3.フィジカルアセスメントの技術	
	2	バイタルサイン	1.バイタルサイン測定と記録 1)体温 2)呼吸	
	3		1.バイタルサイン測定と記録 3)脈拍 4)血圧	
	4		1.バイタルサイン測定と記録 4)血圧	
	5		1.バイタルサイン測定と記録 5)意識	
	6		1.バイタルサイン測定と記録(演習) 1)体温 2)呼吸(SpO2含む) 3)脈拍	
	7		1.バイタルサイン測定と記録(演習) 4)血圧	
	8		身体各部の測定	1.身体各部の測定と記録(演習含む) 1)身長 2)体重 3)腹囲 2.肋骨・肋間の特定
	9	技術試験	1.バイタルサイン測定と記録(血圧)	
	10	ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント	1.呼吸器系のフィジカルアセスメント 1)自覚症状・徴候の確認(呼吸困難感、咳嗽、喀痰、胸痛、チアノーゼ、ばち状指、意識障害) 2)視診(胸郭の形態) 3)触診(胸郭の動き) 4)聴診(呼吸音の聴取) (1)正常呼吸音の聴診部位と音の特徴、呼吸音の観察方法(演習) (2)異常呼吸音・副雑音の音の特徴と発生機序(アセスメント) 5)確認すべき所見(動脈血ガス・胸部X線画像) 6)事例を通しての観察項目立案とアセスメント	
	11		2.循環器系のフィジカルアセスメント 1)自覚症状・徴候の確認(胸痛、動悸、中心性・末梢性チアノーゼ、倦怠感、浮腫) 2)視診(チアノーゼ、頸静脈の拍動と怒張) 3)触診(皮膚温、足背動脈の触診、浮腫)演習を含む 4)聴診 (1)I音・II音の聴診部位と音の特徴、心音の観察方法(演習) (2)過剰心音の聴診部位と発生機序、心雑音の発生機序(アセスメント)	
	12		3.腹部のフィジカルアセスメント 1)自覚症状・徴候の確認(腹痛、食欲不振・増進、吐き気・嘔吐、腸蠕動音の低下・亢進、便秘) 2)アセスメントの準備と流れ 3)視診(皮膚、膨隆) 4)聴診(腸蠕動音の聴診方法と評価) 演習を含む 5)触診(浅い触診、筋性防御、反跳痛)	
	13		1.呼吸器系・循環器系・腹部のアセスメント(演習)	
	14			
	15	試験	試験およびまとめ	
【授業形態】 講義、演習				
【評価方法】 筆記試験、技術試験、課題、出席状況				
【テキスト】 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2:医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術:医学書院 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版:メディックメディア				